



2. 地域のお宝紹介

～あま市で見つけた
つながり・支えあい活動～

暮らしの中にある自然な支えあいを「地域のお宝」として、紹介するね！



美和地区 美和ゲートボールクラブ



【活動内容】

月～金曜日の朝、旧あま市本庁舎北側のゲートボール場で活動されています。毎日、初心者から上級者のみなさんが2～3試合行い、刻々と変わる戦況を見つめながら真剣に取り組まれ、腕を磨かれていました。チーム戦のためみんなで勝利を目指して助言しあい、うまくいくと嬉しいとのことでした。40年近く続けている方もみえ、「いろいろスポーツをやってきたが、一番奥が深い」と話されました。ゲートボールの良いところは、高齢でもでき、ストレス解消になると、頭を使うので認知症予防になるところだそうです。ゲームが終われば、喫茶店に集まり、お話しすることも楽しみの一つです。

プレイしなくても今日はおしゃべりに来たという方もいて、仲間との交流がクラブの楽しみの一つであることがうかがえます。仲間同士で気かけあう関係もありすてきです。



伊福地域 避難行動要支援者の合同避難訓練



【活動内容】

令和6年1月27日(土)伊福自主防災会と小規模多機能型居宅介護施設ふくじゅそう・グループホームポプラが合同で避難行動要支援者の避難訓練を行いました。当日は3班に分かれ、要支援者を車いすに乗せて自宅から避難所まで移動。避難するときに細い道は通れないと予測し広い道から迂回するなど、参加者が考えながら訓練を行いました。訓練後は施設の2階ホールで反省会を行い、各班ごとに発表・気づいたことや課題を共有するなど次に繋げる工夫もされていました。最後には、非常食を食べながら参加者同士で懇談していました。

避難訓練と合わせて日頃からの近所づきあいや顔の見える関係が大切であると再確認されていてすてきです。



甚目寺地区 ソフトバレーボール連盟 水曜クラブ



【活動内容】

毎週水曜日の午後2～4時、甚目寺総合体育館で40～80歳代の男女がソフトバレーボールで汗を流しています。水曜クラブは楽しく体を動かせる場として練習しています。お互いに声を出し合いコート内を動き回り、ボールを打つ時には両手を伸ばすことで全身運動になっています。参加者は「体を動かすと気持ちがいい。健康と若さの秘訣です」代表者は「笑顔で楽しく体が動かせる生涯スポーツ。ミスをして、すべてが笑いになる素敵な場所。何歳からでも、初心者の方も大歓迎です」と話してくださいました。

ご自身のペースで体を動かし、大きな声と笑いが体育館中に響いています。健康増進に加えて、様々な年代の方と出会い、交流できるすてきな場所です。



甚目寺地域 喫茶店でお話会



【活動内容】

ふれあいカフェで知り合った仲間が、カフェ以外にもお話できる機会が欲しいと、毎月1回喫茶ハイライトでお話会をしています。会えばすぐに1ヵ月の近況報告をして、昔の話や暮らしの中で工夫していることなどお互いに情報交換をしています。参加者は「毎月の集まりがとても楽しみ。出かけるついでに他の所にも行こうとなる。少人数だから気兼ねなく、話ができる」と笑顔で話してくださいました。お話会の後は、スーパーで買い物をしたり、名古屋まで出かけたりと、外出するきっかけになっています。

コロナ禍でもつながり続けることが大切であると継続してきたことが、閉じこもりを予防し、健康維持になっておりすてきです。





あま市支えあい情報

あま市支えあい情報では、市民のみなさまから教えていただいた地域の情報を紹介しています。

「おたがいさま」を合言葉に、ささえ愛のタネを育て、広げていきましょう。

1. 協議体 (支えあい会議)の紹介

地域での支えあいをすすめるために、七宝地区・美和地区・甚目寺地区で住民による話しあいの場があるから、紹介するね！



七宝地区協議体では、参加者それぞれの地域活動について情報共有や意見交換を行っています。その中で「多世代交流」がキーワードのひとつとなりました。今年度、七宝地区で子育て中のママたちが多世代交流ができるサロンを始めたことから、サロンに協議体へ参加してもらい情報交換をしました。また、協議体メンバーで実際にサロンに参加しました。地域行事が縮小したり、子ども会がなくなる地域もある中で、子どもから高齢者まで多世代が関われるのは良いことであり、自分たちの地域でもやれないか考えてみたいなどの意見も出ました。

参加者の声

多世代交流サロンの話を聞くだけではわからない部分が、実際に参加してみるとよくわかった。コミュニティにも多世代交流サロンの良さを伝えていきたいです。



ささえ愛♡美和では、生活お役立ちマップとして地域にある高齢者の集いの場や、生活支援サービスを集めて冊子を作成しました。夏まつりや秋まつり、サロンの活動などが復活し、開催する側も参加する側も皆待ち焦がれていたと話が出ました。主に高齢者の集まりの場に子ども達が参加したり、子ども達がボランティアに関心を持つ機会があることが話題に上がりました。その他老人クラブの活性化策や、孤立しがちな高齢者とつながるにはどうしたらいいのかなど、地域の課題が上がり、色々な話題で盛り上がりました。

参加者の声

いろいろな情報が入る良い集まりです。皆のアイデアから何か目に見えるものができると良いですね。



まちかどかつや〜くネットワーク甚目寺では、地域活動について情報共有を行い、みなさんが工夫していることや悩み事、やりたいことの意見交換を積極的に行っています。地域のお祭りや行事・お寺の子ども向けイベントが復活し、新たな活動として、町内会単位のプロギング、ふれあいカフェ、全世代参加型のイベントを地域の企業に協賛してもらうなど、楽しめるイベントが数多く開催されました。そうしたイベントを通じて、町内会等の活動を知ってもらいながら、自分たちの住んでいる地域の伝統やご近所とのつながりの大切さを考えるきっかけになるといいと話しています。

参加者の声

町内会の昔ながらの慣習をあたり前と思っていたが、皆の話を聞いて、地域を変えていくきっかけになるんだと勉強になりました。



みなさんのお住まいの地域で、「地域のお宝」として紹介してほしいことはありませんか。生活支援コーディネーターへ教えてください！後日、取材をさせていただきます。



【問合せ】本所 介護支援課 地域包括支援センター ☎443-4291